

M I O S U J I みおすじ

第22号

発行 愛知県立三谷水産高等学校同窓会
〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町水神町通2-1
TEL.0533-69-2265 FAX.0533-67-7699

「同窓会長として近頃あった事、思った事」

同窓会長(昭和42年漁業科卒)
鎌田 篤司



県立三谷水産高校同窓会に対して、いつも変わらぬご支援・ご協力に、同窓会役員を代表して、お礼を申し上げます。

7月1日(月)「三谷水産高等学校評議員会」が開かれました。現在の学校の卒業後の進学・就職状況

の実態等を聞かせて貰った。

それから、最近の話題として、「三谷水産高校」が取材を受けてテレビで報道された2件について、ビデオを見ながらの報告があった。1本目は「愛知丸ごはん」をタレントのイモトが司会して本校の生徒が紹介するというものでした。

2本目は、本年本校を卒業した女子がイルカのトレーナーになる夢を実現させる為に、名古屋港水族館での修業中の様子を中心にかなりくわしく紹介したものの2本を見せて貰い、後輩諸君の活躍に感じいった次第です。

その後、各評議員の意見・感想の時間になった。同窓会長として「鎌田」は、「本人が本校をどうしても卒業したい、そして家族が卒業をさせたいと希望する場合は、なるべく卒業させるよう配慮してください。」との意見を述べた。それともう一つ「アワビの陸上養殖」と「三谷水産高校」の関わりについても話をした。



H25.7.1(月) 三谷水高評議員会
学校の現状等の説明会を受ける評議員メンバー

この事については、多くの方々が興味と関心を持っておられるようですので、本年度6月定例市議会の三谷町在住の広中昇平市議の一般質問の抜粋を披歴します。

問(広中昇平市議) 「アワビの陸上養殖」について、今年度1,000万円の予算がついたが、1,000万円の積算根拠について聞かせて下さい。

答(大原義文企画部長) 「今回導入を考えている装置は、海水を入れ替えない完全閉鎖式陸上養殖装置を考えています。それらの装置に約930万円、その他初年度運用費、アワビの稚貝や配合飼料等で約70万円で合計1,000万円の予算計上をさせていただきました。

問(広中昇平市議) 養殖装置の設置場所、飼育の体制等三谷水産高校との連携を具体的にどう進めるのか。

答(大原義文企画部長) アワビの陸上養殖を検討していく段階で三谷水産高校からの協力の申し出があり、授業の一環としても生徒にアワビの飼育を行う為に、学校の近くが良いという事で、旧市民プールの管理棟を暫定的に使用します。また、同校初のベンチャー事業との位置付けや、飼育管理から事業化に至るまでを学ぶ事で、事業化に成功した後は、その担い手になって貰え、その事で新たな雇用の創出に繋がる事を期待をしています。

※この「アワビの陸上養殖」について、まずは、今年度から3年間は、本校同窓会長として、また蒲郡の市議会議員として大いに関心を持って推移を見守っていきます。

「評議員会」から2週間後の7月15日(月)午後9時過ぎの事です。テレビの有線放送で、「全国高校野球選手権愛知県予選」を中継録画で放送をしていました。「三谷水」の胸のマークに引き込まれ最後までその放送を見た。岡崎市民球場での「三谷水」としての第1回戦でしたが、「私共の母校三谷水産